

## 教職教育開発センターの動向

清水 睦美

教職教育開発センターは、教員養成から現職教育まで、本学の在學生や卒業生を中心とする教職への幅広いサポート体制の構築を目指して活動している。設立は2010年4月で2022年度は13年目となる。

2021年度の具体的な動きと2022年度の方針は、以下のとおりである。

### 1. 2021年度の現職教員と教職志望学生への支援

現職教員の教育力向上を支援する事業として、2021年度は2つのワークショップを行った。一つは毎年開催している延岡市での「教職員のための教育法規」で、今年度は「校則・生徒指導をめぐる学校の危機管理」（10月16日）と題して行い39名の参加があり、例年同様好評であった。もう一つは、2022年3月17日江戸川区立下鎌田東小学校への出前講座の形で行った「授業のねらいを踏まえた効果的なICT活用」というテーマの企画である。企画段階では本学キャンパスでの実施を検討したが、コロナ感染状況を踏まえ「出前講座」という形に変更して実施した。出前講座に変更したことにより、現場のニーズを聞き取りつつ大学教員の専門性とすりあわせる機会をもつことができ、現職教員へのサポートを比較的押し出すことができたと考えている。

教職志望学生への支援事業としては、前期は2021年度採用試験対策、後期は2022年度採用試験対策を行った。2021年度採用試験対策は2020年秋から始まり2020年度内で「実践講座」前半5回を終えている。したがって4月からは「実践講座」の後半5回に加え、教員採用試験1次試験合格者に対して2次試験対策講座（7～8月）を実施した。両講座に参加した実人数は69名（既卒者3名を含む）となった。69名の合否は合格者が47名である。あわせて、講座の受講の有無にかかわらず個別相談にも応じており、4～8月はのべ479件の相談に応じてきており、きめ細かい対応ができたと考えている。2022年度採用試験対策は、2021年11月11日開催の「教員採用試験ガイダンス」（無料）から始まり、2022年1～2月「基礎・基本講座」（5回）の実施、2～3月「実践講座」前半5回を終えており、56名が参加した（有料）。これとは別に無料で2月19日に、教育政策の動向や教育法規と学校現場の関係を読み解く講座を企画し、60名の学生が参加した。

2021年度は新たに、教職に就く卒業生ネットワークの構築と、そこに教職希望在学生を接続していくようなシステムの構築を目指して企画等を検討した結果、まずは管理職や教育行政職にある卒業生にお集まりいただき「卒業生（現職教員）懇談会」を開催した。企画には12名の卒業生にご参加いただき、現職教員と教職志望学生の両者のサポートする今後のあり方について意見交換を行った。

### 2. 2022年度の動向と主な事業

現職教員の教育力向上を支援する事業および教職志望学生への支援事業は2021年度事

業を継続実施の予定である。なお、教職志望学生の支援事業に関しては、新たに幼稚園の採用試験対策講座を実施することになった。これらの事業は、本学の教職課程の特任教授の力を大きく必要としていることから、所属学科との連携も密にしながら進めていきたいと考えている。

他方、変更や新規としては次の3点を企画検討中である。第1に、教員免許状更新講習終了後の研修についてである。免許更新講習はセンターのキャリア支援の重要な柱であったが、コロナ感染対策の観点と文科省が同講習の見直しを進めていることもあり2020年・2021年度の計画を見送ってきた。さらにこの見直しの動きは2022年5月11日には教員免許更新制の廃止を盛り込んだ法律案が参議院本会議で可決、成立となって具体化し、7月1日から現行の教員免許更新制は解消される。今後、免許更新講習に代わる新たな研修制度が2023年4月から実施されることになっているので、本年度はこの施策の動向を見守っていききたい。

第2に、本学は4学部14学科で教職課程認定を受けているが、学部学科再編により、今後6学部12学科へと教職課程認定学科が減る予定である。また、文科省の義務教育特例措置を受けて小学校二種免許への対応が教職課程委員会を中心に進められている。これらの動きを含めて、全学観点で、本学の教職課程にかかわる課題等を洗い出すことは、本学の教職教育において重要であると考え。そのため、こうした作業を進めるワーキンググループの設置と、検討結果を公表するシンポジウムの開催（11月予定）を検討している。こうした全学規模での教職課程の課題の洗い出しは、卒業生を中心とする現職教員のキャリア支援や、在学生を中心とする教職志望学生への支援にもプラスの効果があると考えている。

第3に、2021年度にスタートした、教職に就く卒業生ネットワークの構築と、そこに教職希望在学生を接続させていくようなシステムの構築を目指し、2022年度は目白祭にあわせて「卒業生（現職教員）懇談会」を開催する企画を検討中である。こうした企画を通してネットワーク構築を進めていきたいと考えている。

（しみず むつみ 教職教育開発センター所長）